

第6次総合計画 基本構想(素案)に対する意見

※庁内意見は反映したもののみを掲載

No	ページ	意見	理由	区分	反映 ○ 一部反映 △ 未反映 ×
1	2	スローガン 「まちづくり」の定義が分からない。説明が必要		タカラボ	○
2	2	スローガン 提言書P1、P2との関連性が分からない いきいき、幸せ等のポジティブな表現にする (提言書P1、P2では図を多用しており、分かりやすかった)	タカラボの提言書のP1、P2を反映する	タカラボ	デザインについては今後検討
3	2	スローガン 字下げしない	行頭を揃えた方が読みやすいため	タカラボ	×
4	2	スローガン 見出しと説明の網掛けは分ける(どちらか一方のみ、網掛けする)	見栄えが悪いため	タカラボ	デザインについては今後検討
5	2	スローガン 「舞台」の並びと優先度・重要度をつける 番号を振って、P3のまちづくりの視点とのつながりが分かりやすいようにする		タカラボ	△
6	2	スローガン 一人ひとりの「活動・活躍できる場」(舞台)をつくり、あらゆる人の「暮らし」(舞台)を支え…の「一人ひとり」と「あらゆる人」の違いが分からない。修正が必要ではないか。		庁内	○
7	2	スローガン枠外 地域ごとのまちづくり計画の内容が反映されているのか。 地域ごとのまちづくり計画について触れてもらいたい。		まちづくり協議会	×
8	2	スローガン枠外 「スローガンの」を削除	冗長であるため	タカラボ	○
9	2	スローガン枠外 「やりたいことができる環境をつくりだし、市民がつながりをもてることで、まちを活性化する」のように文章を並び替える	「まちを若返らせる」という表現がなじみのない言葉であるため	タカラボ	×
10	3	まちづくりの視点 全体 「舞台」という言葉の適否に疑義を呈する 例：(2)「舞台(暮らし)を支える」→「子育て世代が住んでみたいと思える」	「舞台」という言葉を用いたい意思があふれているが、結果的に何をするのか表題で分かるようにすることも大事だと考える。2つめだと「子育て世代が住んでみたいと思える」が伝えたいことだと考えるが、それが舞台を支えるだと使いやすくと伝わる率が低くなるのではと懸念するため	庁内	-
11	3	まちづくりの視点 (1)舞台(活動・活躍できる場)をつくる 「一人ひとりの活動・活躍できる場をつくりまします」→「場づくりを推進します」に修正	責任を持ってないと考えるため	タカラボ	○
12	3	まちづくりの視点 (1)舞台(活動・活躍できる場)をつくる 「一人ひとりの活動」と「協働」の関わりが不明瞭なので文のつながりをつけるか、関係性の補足が必要		タカラボ	△
13	3	まちづくりの視点 (2)舞台(暮らし)を支える 現行では福祉等のソフト面をイメージするが、防災等のハード面を想起させる表現に変更又は追加		タカラボ	○
14	3	まちづくりの視点 (2)舞台(暮らし)を支える 「お互いさまがあふれるまちづくりに取り組みます」を、「お互いさまがあふれるまち」づくりに取り組みます」に修正してはどうか	お互いさまがあふれるまちづくりが一般的な熟語として使用されているが、宝塚市の独自の名詞であり広く一般に知られていないのであれば、それが分かるようにした方が良いと考えるため	庁内	-
15	3	まちづくりの視点 (2)舞台(暮らし)を支える 「子育て世代が住んでみたい」→「子育て世代も移り住んでみたい」に修正		タカラボ	○
16	3	まちづくりの視点 (3)舞台(まち)を未来につなげる 「また」→「加えて」に修正	前後の文章のつながりを意識	タカラボ	○
17	3	まちづくりの視点 (3)舞台(まち)を未来につなげる ヒト・モノ・カネ→フレーズ見直す	“カネ”はここではちょっと表現が不適當。リソース、ステークホルダーなどにしてはどうか	タカラボ	○

No	ページ	意見	理由	区分	反映 ○ 一部反映 △ 未反映 ×
18	3	まちづくりの視点 (3)舞台(まち)を未来につなげる 「ヒト・モノ・カネ」→地域内経済など循環のイメージをだす 表現にする。ポピュラー(トレンド)なキーワードに置き換える		タカラボ	△
19	3	まちづくりの視点 (3)舞台(まち)を未来につなげる 広域的な連携とは誰が対象かを明確にする		タカラボ	×
20	5	めざすまちの姿 説明欄 地域ごとのまちづくり計画について触れてもらいたい		まちづくり協議会	○
21	6	めざすまちの姿 全体 地域ごとのまちづくり計画について触れてもらいたい		まちづくり協議会	×
22	6	めざすまちの姿 全体 「多世代が取り組むまちづくり」という観点が抜けている		タカラボ	○
23	6	めざすまちの姿 全体 「都市の抱える様々な課題に対してICT等の新技術を活用しつ、計画、整備、管理、運営等が行われ、全体最適化が図られる持続可能なまちを目指す」といったスマートシティの考え方もベースに持つておく必要があるのではないか	政府は、Society5.0やスマート自治体の実現を目指しており、今後、革新的な技術により社会が大きく変わろうとしていることから、基本構想にそういった視点を盛り込むことを検討する必要があるのではないか	庁内	-
24	6	めざすまちの姿 「市民と行政との協働」 「…市民と行政がそれぞれの役割を果たし、協力しながら、まちづくりを進めている。」を「協働の理解や取組が広まり、市民と行政がそれぞれの役割を分担し、協力しながら、まちづくりを進めている。」に修正	協働の指針と表現を合わせるため	庁内	-
25	6	めざすまちの姿 「市民と行政との協働」 「広まり」→「さらに広まり」に修正	「現状+α」つぼくする	タカラボ	○
26	6	めざすまちの姿 「開かれた市政」 「ICTの活用により」を削除 「が進み」→「により」に修正		タカラボ	△
27	6	めざすまちの姿 「開かれた市政」 「行われている」→「進んでいる」に修正	「現状+α」つぼくする	タカラボ	○
28	6	めざすまちの姿 「開かれた市政」 「ICTの活用により、」を削除	広報活動としてICTの活用だけを強調する必要はないため。また、施策「情報化」に同様の記載があるため	庁内	-
29	6	めざすまちの姿 「行財政運営」 安定した行政サービスとは。人口が減少し、財政状況も厳しくなっていくことも想定し、行財政運営を考えていく必要がある。		庁内	-
30	6	現状認識 下段左 「人口減少、少子高齢化など社会構造が変化しており、今後、財政運営にも大きく影響してくると思われる。」を「SDGsの推進による持続可能な社会の実現と」に修正	SDGsの観点を盛り込み、文言を整理	庁内	-
31	7	めざすまちの姿 全体 レイアウトが分かりにくい。提言書の内容を一番下にして上がってくるというスタイルの意味が分かりにくい		タカラボ	×
32	7	めざすまちの姿 「危機管理・防災・消防」 「命や生活に関わる危機に備え、いざという時には、迅速かつ適切な対応を…」に修正	文言整理	庁内	-
33	7	めざすまちの姿 「危機管理・防災・消防」 「地震や風水害に市民と行政がともに備え、地域で助け合う意識が高まることにより防災力が…」に修正	文言整理	庁内	-
34	7	めざすまちの姿 「防犯・交通安全・消費生活」 「防犯・交通安全」と「消費生活」を分ける	「消費生活」に関する施策は、消費者被害を防止することだけを目的としていないため	庁内	-
35	7	めざすまちの姿 「土地利用・市街地・北部整備」 「…豊かな自然や住宅都市、観光文化都市としての特性を生かしつつ、都市機能を集積させるコンパクトなまち…」を「…豊かな自然や文化など様々な特性を生かしつつ、都市機能を集積するなどコンパクトなまち…」に修正	住宅都市、観光文化都市という誇張の表現をさげ、より適正な表現にするため	庁内	-

No ページ		意見	理由	区分	反映 ○ 一部反映 △ 未反映 ×
36	7	めざすまちの姿「土地利用・市街地・北部整備」 少子高齢社会と書かれているが、「人口構成が若返る」という提言書のワードが表現できていない。宝塚市で安心して出産して子育てできるという表現を入れて欲しい	市民病院の産科、小児科が若返る宝塚には必要と考えるため。現状では市外で出産しなければならない	タカラボ	△
37	7	めざすまちの姿「住宅・住環境」 「誰もがずっと住み続けたい、移り住みたいと思える魅力的な住環境が整っている。」を、「良好な住宅を次の世代へつなぎ、誰もがずっと住み続けたいと思える魅力的な住環境が整っている。」に修正	すでに市民アンケートで住環境の良さが一定程度評価されており、今後は維持することや、次世代につないでいくことを見据えた内容とすることが望ましいため	庁内	-
38	7	めざすまちの姿「道路・交通」 「歩行者や車両にとって…進み、市民一人ひとりの生活を支える公共交通手段が…」を「歩行者や車両にとって…進むとともに、生活を支える移動手段が…」に修正	市民全員の手段確保を言いきることは困難と考えるため。また、交通手段は公共に限定する必要がないと考えるため	庁内	-
39	7	めざすまちの姿「河川・水辺空間」 「…を防止する…」を削除	防止に限った対策でないと考えるため	庁内	-
40	7	現状認識 上段左 「南海トラフ地震等の地震や風水害に備えるため、自助、共助の取組を…」に修正	文言整理	庁内	-
41	7	現状認識 上段中央左 全文を「人口あたり犯罪発生件数は、減少傾向にある。人身事故、死傷者数は減少していたが、近年は、増加傾向にある。より安全安心なまちにしていく必要がある。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
42	7	現状認識 上段中央右 「消費生活相談の相談件数は約2,000件前後で推移している。自ら考え行動する消費者を育むことが求められている。」を追加	「防犯・交通安全」と「消費生活」を分けたため	庁内	-
43	7	現状認識 下段左 「市民アンケートで住環境の良さが評価されており、魅力の一つとなっている。」を 「市民アンケートで住環境の良さが評価されている。しかし、少子高齢化による住環境の変化が起きており、社会情勢に対応した取組が必要である。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
44	7	現状認識 下段中央右 「近年、集中豪雨が多発している。関係機関との連携による総合的な治水対策が求められている。また、水辺空間をまちづくりに生かしていく必要がある。」を追加	「河川・水辺空間」にかかる現状認識がなかったため	庁内	-
45	8	めざすまちの姿 全体 タカラボで議論された「食育」に関する記述が皆無である	少なくとも最下段の提言書では触れるべき	タカラボ	○
46	8	めざすまちの姿「地域福祉」 「あらゆる立場の人」→「市民一人ひとり」に修正	表現修正	タカラボ	△
47	8	めざすまちの姿「高齢者福祉」 「高齢者がいきいきと…」は1文にする		タカラボ	○
48	8	めざすまちの姿「高齢者福祉」 「健康でいきがいのある」を「健康で生きがいのある」に修正	他の記述箇所においては、すべて「生きがい」と表現されており、当該箇所のみひらがなで表現する意味が特にないため	庁内	-
49	8	めざすまちの姿「健康」、「社会保障」 「○あらゆる世代で…」と「○若い世代を…」の違いをはっきりするか、統合する方が良い。例えば社会保障という言葉を入れる		タカラボ	○

No ページ		意見	理由	区分	反映 ○ 一部反映 △ 未反映 ×
50	8	現状認識 全体 「必要がある」「大切である」「必要である」表現を工夫する	課題に対する問題提起になっている。あくまでも現状認識に留めるべきと考えるため	タカラボ	△
51	8	現状認識 下段中央 「障害者手帳、療育手帳」を「障害者手帳」に修正	障害者手帳は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳と3種類あるが、兵庫県発行の手帳はいずれも障害者手帳と表記されており、所持者の傾向として増加していることも同様であるため	庁内	-
52	8	現状認識 下段右 「…問題が深刻化している。」以降を「問題が深刻化しており、自立への支援が求められている。国民健康保険事業の健全で安定的な運営が求められている。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
53	9	めざすまちの姿 「人権・同和、男女共同参画」 「すべての人」→「市民一人ひとり」に修正		タカラボ	×
54	9	めざすまちの姿 「児童福祉・青少年育成」 「異世代」→「他の世代」に修正		タカラボ	○
55	9	めざすまちの姿 「学校教育」 「子ども一人ひとりが大切にされ」に「の権利」を加える	子どもの権利条約を踏まえるため	タカラボ	×
56	9	めざすまちの姿 「社会教育」 「誰もが生涯を通じて学ぶことができ、その成果が個人や地域に還元され、まちづくりに生かされている」を「誰もが生涯を通じて学ぶことができるとともに、学ぶことがその人の生きがいや心豊かな生活につながり、まちづくりに生かされている。」に修正	個人の学習成果は多様であり、まちづくりに生かされることは一部であるため	庁内	-
57	9	めざすまちの姿 「スポーツ」 「様々な」→「あらゆる」に修正		タカラボ	×
58	9	めざすまちの姿 「スポーツ」 「交流を通じた」を削除	スポーツの楽しみ方は多様であるため	庁内	-
59	9	現状認識 「必要である」の表現を工夫	課題に対する問題提起になっている。あくまでも現状認識に留めるべきと考えるため	タカラボ	△
60	9	現状認識 上段左 「差別解消に向けた法整備が進む一方で、インターネットの普及による人権侵害が広がっている。多様化する人権問題への認識と理解を深めていくことが大切である。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
61	9	現状認識 上段右 全文を「子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりや子どもの最善の利益を考慮した取組が大切である。また、子どもの社会参加の促進とその行動を支援する人材育成が必要である。」に修正	表現の見直し及び内容精査のため	庁内	-
62	9	現状認識 上段右 全文を「子育ての孤立感や負担感が高まっている中、発達課題等を抱えた子どもとその家庭への支援や児童虐待の発生防止のために、関係機関が連携し、切れ目ない支援に取り組む必要がある。」に修正	表現の見直し及び内容精査のため	庁内	-
63	9	現状認識 下段右 「学びの成果をまちづくりに生かしていくことが大切である」を「学んだことがまちづくりに生かされることが大切である」に修正	めざすまちの姿と表現を合わせるため	庁内	-

No	ページ	意見	理由	区分	反映 ○ 一部反映 △ 未反映 ×
64	9	現状認識 下段右 全文を「スポーツは、生きがい・健康・体力づくり、青少年の健全育成など、様々な有用性がある。誰もが、いつでも、どこでもスポーツに取り組める環境づくりを推進する必要がある。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
65	10	めざすまちの姿「環境保全」 「、生物多様性の保全と人との共生が…」を、「、生物多様性の保全や人と自然との共生が…」に修正	人と何の共生かがわかりづらかったため	庁内	-
66	10	めざすまちの姿「都市美化・環境衛生」 「清潔で～」を、「きれいで～」に修正	環境基本計画と表現を合わせるため	庁内	-
67	10	現状認識 上段右 「昔はどこにでもいた」を削除 文末に「生物多様性の保全や人と自然との共生を図っていく必要がある。」を追加	主観的な表現と考えられるため。また、現状認識の書きぶりの統一を図るため。	庁内	-
68	10	現状認識 下段左 「比較的高い率」を削除	何と比較しているか分からない。数値の算出方法にバラツキがあり、誤解を与えてしまうおそれがある。事実のみを記述すべきと考えるため	庁内	-
69	10	現状認識 下段右 「市民意識の向上が求められている。」を追加	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
70	10	現状認識 「環境・経済・社会の良好なバランスと秩序を保った、持続可能な社会システムの構築が求められている」を削除	めざすまちの姿 都市経営の現状認識に「SDGsの推進による持続可能な社会の実現」を追加し、整理し直したため	庁内	-
71	11	めざすまちの姿 全体 歴史が入っていない(教育的側面)、歴史を伝える施策がない、歴史街道がタイトルに入っていない	市民が宝塚の歴史に触れる点を盛り込みたい	タカラボ	△
72	11	めざすまちの姿 フレーズ 「文化芸術」→「文化・歴史があふれる、文化の薫りがする」に修正。	文化芸術の意味が狭いため	タカラボ	×
73	11	めざすまちの姿 フレーズ 「(6)宝塚らしい”にぎわい”と文化芸術があふれるまち」を「”にぎわい”と文化芸術があふれる、創造性豊かなまち」に修正	現在策定作業中の、「産業振興ビジョン」との整合性を明らかにするため	庁内	-
74	11	めざすまちの姿「商業・サービス業・工業」 大企業は撤退、文化の薫りがする創造性豊かな(クリエイティブな)企業が出てきている、という内容を追加する		タカラボ	△
75	11	めざすまちの姿「農業」 「農業を志す人が増えるとともに、市民が身近に「農」に触れている」→「農業を志す人が増えることで未来の宝塚の農業が継承される」に修正	「市民が身近に「農」に触れている」は目的であるため	タカラボ	△
76	11	現状認識 上段左 「観光資源が豊富にあり、」を削除 文末に「豊富にある地域資源を観光振興に生かしていく必要がある。」を追加	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
77	11	現状認識 上段右 文頭に「市民農園の利用や農福連携など、農の持つ魅力を生かしていく必要がある。」を追加。 「、伝統的産業である…」以下を「ている。農業を志す人を増やし、活性化を図る必要がある。」に修正	現状認識を一部追加しより分かりやすくするため 現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-
78	11	現状認識 下段中央 「…高まってきている。」を「…高まってきており、多文化共生社会に向けた取組が求められている。」に修正	現状認識の書きぶりの統一を図るため	庁内	-